

# オポナカムラの生業 ～ 弥生・古墳時代の漁業～

▶ 問合せ 郷土資料館 ☎079 (435) 5000



播磨灘で発見された弥生～現代のタコ壺

- ▶ 展示期間 10月8日(土)～12月4日(日)
- ▶ 開館時間 9:30～17:00  
※月曜休館(祝日は開館し翌火曜に休館)
- ▶ 場 所 郷土資料館 展示室
- ▶ 料 金 無料
- ▶ 問 合 せ 郷土資料館 ☎079 (435) 5000



たこつぼしようず ひょうごけんぎょぐずかい  
「章魚壺使用圖」 「兵庫県漁具図解」  
関西学院大学図書館蔵

## 記念講演会 「弥生古墳時代の漁業」

- ▶ 日 時 10月23日(日) 13:30～15:00
- ▶ 場 所 兵庫県立考古博物館 講堂
- ▶ 講 師 和田晴吾(兵庫県立考古博物館長)
- ▶ 定 員 先着150人(当日受付)
- ▶ 問 合 せ 郷土資料館 ☎079 (435) 5000

## — オポナカムラではどんな暮らしをしていたの? —

大中遺跡は兵庫県を代表する弥生時代の集落跡です。後期に大きな集落に発展し、東播磨の中心集落に成長しました。

大中遺跡出土遺物(発掘されたもの)の中で目立つものとして、イイダコ壺があります。

これは播磨灘でイイダコを獲る用具です。このことから、オポナカムラ(古代語で大中村の意)では古代から漁業が生業(しごと)として営まれてきたと考えられています。今回は弥生時代から古墳時代の漁業に焦点を当て、そこから大中遺跡の時代を考える特別展を開催します。



## 展示の主なテーマをご紹介します

### I. 大中遺跡の概要



大中遺跡は発見から約54年経ちます。多くの方々に利用される遺跡公園としても親しまれるようになりました。

### II. オポナカムラの生業



弥生時代の生業はいくつかありますが、オポナカムラは漁業が大きな柱だったと思われます。

### III. イイダコ壺



播磨灘・大阪湾では、他の地域に比べてとても多くのイイダコ壺が出土しています。大中遺跡においても大きな特徴です。

### IV. 土錘・石錘(漁に使う「おもり」)



弥生時代から現代まで、さまざまな錘(おもり)を展示します。

## 関連事業

### 紙芝居「うみのお米おなかいっぱい」上演

ひょうご考古楽倶楽部  
10月9日(日)・30日(日)・11月13日(日)・27日(日)  
14:00～ 復元住居(新1101)にて  
終了後展示解説を行います。

### 講演会

10月8日(土) 「イイダコ壺」 渡辺 昇  
11月26日(土) 「土錘」 萬代 和明  
13:30～15:00 郷土資料館学習室にて

## 参加無料

### イイダコ壺づくり

10月10日(祝) 作成 10月22日(土) 焼成  
10:00～ 郷土資料館学習室  
古代の焼成方法で焼きます(要申込)



作ったイイダコ壺は、来春のイイダコ漁の時期に播磨灘で実際に使用します。その頃に親子教室弥生グルメでイイダコも食しますのでご参加ください。